

目次

……………
【1】 --- 教員コラム 18 弾 第 9 回「教員の推薦図書」分子生化学 / 中田慎一郎

……………
【2】 --- クラウドファンディングスタート！

……………
【3】 --- 2/1（土）全館休館

……………
【4】 --- 1 階トイレ改修のため、使えません

……………
【5】 --- キッチンカー募集

……………
[Book Review]・・・編集後記にかえて

【1】 --- 教員コラム 18 弾 第 9 回「教員の推薦図書」分子生化学 / 中田慎一郎

……………
私が医学部に入学した頃には、結構楽しい企画があり、「教授がすすめる図書」というものが学生の有志によって発行されていた。推薦図書にふさわしい書籍がリストアップされている中、特に目を引いたのが手塚治虫著『きりひと賛歌』だった。漫画が推薦されているという珍しさもあり、生徒時代に『火の鳥』や『ブラック・ジャック』で慣れ親しんだ手塚治虫の作品の中で未読だったこともあって、その日のうちに購入し、一気に読破した。感想は、推薦した教授のコメント通りで、強烈な感動を受けた。

今振り返ると、他愛もない出来事が 30 年も記憶に残っていることに驚く。そして、自分の何気ない一言が他人に大きな影響を及ぼす可能性もあるのだから、言動には気をつけなければと思う。一方で、それができるほど立派な人間になれていない自分に反省しきりである。

学生の頃は日本文学を好んで読んだ。夏目漱石、有島武郎、遠藤周作がお気に入りだったように記憶している。素晴らしい作品を読んでいたにもかかわらず、それが人格に反映されていないところが情けない。日本初のノーベル文学賞受賞作家である川端康成の『雪国』は、学生時代には全く理解できなかったが、35 歳を過ぎて改めて手に取ったとき、文

字を読んでいるだけなのに映像が流れていくような感覚に感激した。年齢を重ねなければわからない深みというものがあるのではないかと気づいた瞬間だった。

また、何度も挫折したドストエフスキーの『カラマーゾフの兄弟』は、亀山郁夫訳を手にしたとき、一気に読破することができた。文学に詳しい人によると、「原著に忠実ではない」という不満もあるそうだ。しかし、まずは勢いのある日本語で作品の素晴らしさを知り、その後、原著に忠実と言われる翻訳で深みを味わうのも良い方法ではないだろうか。

以上、読者を学生諸君と想定して、読書に関する思い出を綴った。実学につながる書物しか読まなくなってしまった私が言うのも何だが、様々な時代・国の文豪たちの語らいを聴ける読書は、自分の世界を広げ、人生を豊かにしてくれる何にも代えがたい経験である。学生諸君にはぜひ、今しかない自由な時間を生かして、多くの本に触れてほしいと思う。

もちろん、基礎医学の教科書もお忘れなく。

※教員コラム第18弾は今号で終了です。今年度は、新しく教授に就任された先生方と図書館運営協議会委員の先生方に、図書館や本に関する興味深いエッセイを書いていただきました。9名の先生方、ありがとうございます。(編集子)

過去の教員コラムは、[こちら](#)です。

【2】 ---クラウドファンディングスタート！

.....

1/20(月)より 3/31(月)23:00 まで、ラーニングコモンズを新たに整備するためクラウドファンディングがスタートしました。

おかげさまで 1/23(木)9:00 現在、53 人の方から 1,375,000 円のご寄附と共に応援のコメントをいただいております。本学でのラーニングコモンズの完成に、学生、教職員や地域の医療スタッフからの期待をひしひしと感じます！

[京都広小路通信サイト](#)でも、ラーニングコモンズ設置にかける我々の想いを掲載しています。

[#15 学びの未来を形にする夢の空間 「ラーニングコモンズ」の整備が始まっています](#)

[#16 150 年の歴史を次世代に繋ぐ、クラウドファンディング始動](#)

コラムをご覧いただき、ぜひとも本クラウドファンディングへのご支援を賜りますよう、
お願い申し上げます。また、知人・ご家族など、この取組をご支援いただける方にどうぞ
ご紹介ください。

皆様のお一人お一人の温かいご支援が、このプロジェクトを成功に導く大きな力となります。
す。

京都府立医科大学附属図書館 150 年の歴史を新たな形で未来へつなぐ
ラーニングコモンズの整備等にご支援を

◆募集期間：2025/1/20(月)9:00～3/31（月）23:00

◆募集金額：400 万円

◆ReadyFor サイト：<https://readyfor.jp/projects/hirokojipj2025>

◆チラシ：[こちら](#)

ご支援をいただいた方には、金額に応じて、広小路キャンパスマグネットしおりや、府立
医科大学内探検ツアーなど、返礼品を用意しています。

【3】---2/1（土）全館休館

.....

ラーニングコモンズ設置作業に伴い、1 階から 2 階への什器大移動のため、2025/2/1(土)
は全館休館します。国家試験を控えた時期に大変ご不便をおかけしますが、ご協力のほ
ど、何卒よろしくお願いします。

【4】---1 階トイレ改修のため、使えません

.....

附属図書館内の 1 階トイレは、ただ今改修工事中です。大変ご迷惑をおかけしております
が、工事中は、附属図書館を出て右側の 1 階トイレ、または館内 2 階トイレをご利用くだ
さい。

◆使用停止期間：2025/1/11(土)～3/28(金)

【5】 ---キッチンカー募集

.....

大学では、来学者及び来院者等の満足度向上を図るため、大学敷地内において、キッチンカーによる飲食物の販売を行う事業管理会社を募集しています。

◆募集期間：2025/1/15(水)～2/14(金)17:00 必着

◆申込方法：出店申請書を郵送、FAX 又は電子メールにて京都府立医科大学附属図書館へ提出

◆出店条件など、詳細は以下をご覧ください。

・ [募集文](#) ・ 出店申請書 ([PDF 形式](#)) ([Excel 形式](#))

[Book Review]

.....

有吉佐和子『恍惚の人』（新潮社 1979 年）

家族が認知症になり、認知症文学として有名な本書を手にとった。作中の認知症患者（当時の言葉で「毫碌した」）茂造は意思の疎通がほぼ出来ないモンスターの存在として描かれ、今読んでも衝撃的。息子の妻昭子が一人で担う介護は壮絶だが、職業婦人昭子のきびきびした態度に救われる。老いらくの恋があったり学生運動くずれの若者が登場したり、エンタテインメント要素も多いので読みやすい。

介護制度が変わっても認知症患者の症状と介護者の苦悩は変わらない。発表から半世紀経っても色褪せない名作。(Y.S.)（京都府立図書館所蔵「[K-Libnet](#)」で貸出が可能です）

KPUM Library Booklog : <https://booklog.jp/users/kpumlib>

この本のページ : <https://booklog.jp/item/1/B00IP4BXZO>

.....

図書館メール News535 号 2025.1.23 発行（隔週木曜日発行）

編集・発行：京都府立医科大学附属図書館

library@koto.kpu-m.ac.jp

<https://www.kpu-m.ac.jp/k/library/>

.....

(図書館メール News のバックナンバーはこちらから↓)

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/webservice/mailnews.html>